



# こ だか 小高まゆみ

ブログ 市政・県政 見てある記  
http://mkodaka.blog.105fc2.com/  
E-mail : m-kodaka@hotmail.co.jp  
携帯 090-4433-7092

政治活動特集

## 徹底した 情報公開 市民参加

# 司法改革の破綻 放置するな 裁判員法廃止と検審の透明化急げ

### 法の下克上、冤罪防止＝取調べの全面可視化など多い課題

## 裁判員裁判の 事実上の破綻

11月16日、横浜地裁は裁判員裁判で初めて死刑を言い渡しました。この事件は住所不定、無職の32歳の被告が、男性2人を殺害、切断遺体を遺棄したというものです。

朝山裁判長は判決後、被告に対して「控訴することをお勧め」、自らの裁判を否定する異例の展開となりました。裁判員裁判の事実上の破綻という事態です。

## 政治家狙い撃ち 制度の欠陥利用

実は、この裁判員制度と同じく、司法制度改革の一環として、昨年5月21日に検察審査会の強制起訴の制度が施行されています。この検察審査会では、

裁判員同様の手続きで委員が選出され、委員は匿名で会議の日程も審査過程の議事録すら公表せず起訴議決がで

き、情報公開と正反対の考えと不確かな手続きの危険な制度です。

メディアを騒がす第五検察審査会による小沢一郎議員への強制起訴の議決は、まさにこ

政府・与党は13日、地方議員年金制度を廃止する方向で最終調整に入りました。来年の通常国会に関連法案を提出する見通しです。

市町村年金は、合併に伴う議員数の減少などで

財政が悪化し、来年度にも破綻すると言われています。総務省の廃止案は、議員OBは現行通り、受給資格のある現職議

の制度上の欠陥を突いた政治謀略劇です。

## 許すな立法不作為 国会議員は仕事を

国会で制度の自身を殆どまともに審議せず全会一致で通った「司法制度改革」関連法です。早くも根本的な破綻が露呈した「裁判員制度」や「検察審査会

## 議員年金破綻考

議員は退職時に現行通りの年金が掛け金の64%の一時金の選択、資格のない現職議員は、在職年数に応じた一時金などとしています。

そのために今後、総額約1兆1189億円の公費が必要なのです。これでは税金での負担ばかりが増大してしま

の欠陥を国会が放置し続ける立法不作為は、決して許されません。

ません。破綻することが予想できながら、これまで何の対策も取ることができなかった責任は地方議員自身にあるのです。その責任上、

特権である議員年金は早々に国民年金に統合すべきです。そうすれば一般国民と同じ水準となるので、議員は国民年金の改善を自分の問題として本気で考えるようになるはず

平和・人権、自治と共生をめざす草の根ジャーナリズム

月刊「市民じゃ～なる」号外  
編集・発行：市民じゃ～なる社  
発行人：長内経男  
〒330-0061 さいたま市浦和区常盤3-18-20-803  
Tel: 048-834-1232 Fax: 048-833-6861  
E-mail: shiminj@ca.apc.org  
ブログ: http://shiminj.blog108.fc2.com/  
定期購読：3000円 (12号分送料込)  
郵便振込：00150-2-144707

# 政務調査費公開の経緯から 埼玉 談合体質一新が必要

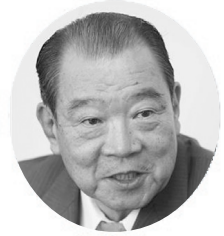
月額50万までの県政調査費に領収書添付が義務付けられたのは昨年2月議会開会中でした。しかしその過程は、奇妙なものでした。

私が提出していた「県政調査費の使途明確化を求める請願」の影響から、それを話

も公にせず、県民に傍聴もさせない、議事録の公開もない、密室での会議でした。しかしそこで決まったことは、議会をも通さず適用されたのです。議長が勝手に「規定」を改正するということ、裏技のようなやり方でした。そして、調査研究費、会議費、広聴費は領収書添付をしなくてもよい、

## 平野貞夫さん講演会

### 政権交代革命を守る —地域の主権者は何をなすべきか—



# 12月11日(土)

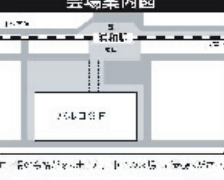
開場18時～ 開演18時30分～20時30分

昨年、民主党は、小沢一郎議員の主導したマニフェスト「国民の生活が第一」を掲げ、待望の「政権交代」を実現しました。しかし、旧勢力（検察とマスコミ）による常軌を逸した小沢一郎議員への攻撃に対して、政権・与党の同志たちは沈黙、或いは同調するなど、政策的にも後退に後退を重ね、ついには「政権交代」の意義さえ失いかねない状況に追込まれています。「政権交代」は国民のためのものであり、その主導者への攻撃は、国民と民主主義への攻撃に他なりません。

私たちは、小沢一郎議員の信頼できる長年の同志である元参議院議員の平野貞夫さんを招き、この間の一連の攻撃の本質を掴み、そして旧勢力の攻撃にくやしい思いを抱く仲間を再結集し、陣形を整え、地域から反撃の第一歩を築きたいと思っております。

●会場●  
パルコ9F 第15会議室  
(JR東武東上線浦和駅西口徒歩2分)

●参加費：500円



主催：12・11平野貞夫さん講演会実行委員会  
山梨アイ子 (048-935-1208 担当) 佐藤 敏男 (090-5519-0011 担当)  
塚本ひでき (090-3815-0199 担当) 櫻木 和幸 (090-8595-1672 担当)  
小高まゆみ (090-4333-7091 担当) 服部 光之 (090-8421-6211 与野)

後援：日本一新の会

### ハツ場ダム中止撤回 推進派は大喜び 国民「許せない」

馬淵国交相は6日、ハツ場ダムの建設について「私が大臣のうち『中止の方向性』という言葉に言及しない」と発言し、中止の方針を撤回しました。民主党は昨年（2009年）のマニフェストで「川辺川ダム、ハツ場ダムは中止。時代に合わない国の大型直轄事業は全面的に見直す」ことを高々と掲げていました。「政権交代」は、その政策が支持を得て

決定されたのでした。こつした埼玉県議会に横行する小さな会派や無所属を無視した一部議員による密室談合政治は一新されなければなりません。

「許せない」が72%、その理由は「民主党は公約破りばかりだ」というものがトップで53%です。国民はマニフェストを勝手に180度の変更する菅内閣のやり方が許せないようです。一方、ダム建設推進派の上田知事や議会内で大多数を占める県議たちは大喜びです。

その政策が支持を得て

その政策が支持を得て

### 小高まゆみ 請願物語

### 介護保険料値上げに抗議

私の手元にひとつの請願があります。03年6月、さいたま市議会に提出した介護保険料についてのものので、自らが請願者になり一人で初めて提出しました。当時、私は「介護保険を考える会」を主宰しており、さいたま市の不公平な介護保険料の値上げについて改正な影響を与えました。